

令和7年度 交通信号保守診断士 実務試験解答

問1（40点）

（1）～（4）（1点×4＝4点）

（5）（7点×3＝21点）

作業中の安全管理の要点

・ 安全衛生管理体制に関する内容

統括安全衛生管理者・安全管理者等法令に基づき措置しなければならない
内容の記載

・ 教育に関する内容

危険な作業に従事する作業員に対する技能講習等について記載

・ 労働災害防止に関する内容

高所作業時、感電事故防止等について労働安全衛生規則等の規定を順守し
て、災害防止をした内容を記載

〔特に当該内容についての回答を希望する〕

（6）（15点）

安全管理の留意点と措置または対策

留意事項	措置または対策
高所作業時の 墜落防止	①作業床を設ける。困難な場合は防網を張り、作業員に安全帯を使用させる。 ②作業床の端や開口部に墜落防止のための囲い・手すりを設ける。 ③悪天候のときは工事を中止する。
脚立作業時の 転落防止	①作業前に損傷や腐食がないか点検する。 ②折りたたみ式のものは、安定させるための金具をつける。 ③路面は作業を安全に行うための面積を有するものを使用する。
飛来・落下災害 防止	①高所からの物体の投下には投下設備を設ける。 ②落下のおそれのある場合、防網設備を設け、立入り禁止区域を設定する。 ③飛来のおそれのある場合、飛来防止設備を設け、労働者に防護具を着用させる。
高所作業車の 転倒防止	①指揮者を定め、作業計画に従って作業する。 ②転倒・転落防止のためアウトリガーを張り出す。 ③地盤の不動沈下や路肩の崩壊を防止するため適切な措置を施す。
クレーン作業 時の危険防止	①作業開始前にワイヤロープなどの点検を行う・ ②合図を定め合図を行う者を指名する。 ③定格荷重は厳密に守らなければならない。

当該基本内容を実管理から具体的に記することが望まれる

問 2－1（25 点）

（模範解答を下記に太文字で示す）

①（10 点）

点検項目：コンクリート柱の鉄筋破断診断

②（15 点）

点検内容：写真は、コンクリート表面から磁石で鉄筋を着磁している作業。

本作業後に、磁気センサー（CP チェッカーなど）を使用して破断の有無を診断する。

問 2－2（7 点×5＝35 点）

（模範解答を下記に太文字で示す）

- ・ 予定の定期点検作業項目は、全て実施したか。
- ・ 工具、測定器、規制機材は、作業前の数量であるか。
- ・ 信号制御機のスイッチ、表示灯は、作業前の状態であるか。
- ・ 鍵の施錠は、ダブルチェックで確認したか。
- ・ 監督員に、点検作業完了の報告を行ったか。